償却資産の申告方法・記入例

■提出先・提出方法

小樽市財政部資産税課　償却資産係　［別館２階　24 番窓口］
〒047-8660　小樽市花園２丁目 12 番１号
TEL：0134-32-4111〔内線 246〕　FAX：0134-22-5354

・窓口のほか、郵送、eLTAX による電子申告での提出も受け付けております。
・申告書の控えに受付印が必要な方は、「申告書の控え（提出用のコピー）」を御用意いただき、郵送の場合は「切手を貼付した返信用封筒」も同封してください。控えや切手の貼付がない場合は返送できませんので、御了承ください。
・eLTAX の手続き等については、eLTAX のホームページを御確認ください。［https://www.eltax.lta.go.jp/］
・申告書類の記入方法がわからない場合は、次の書類をお持ちの上、お早目に御来庁ください。
［固定資産台帳／総勘定元帳／決算書／法人税又は所得税の申告書等］

■提出書類

１　申告書類

・申告用紙が複写式から単票に変更となりました（申告用紙は提出用のみとなります）。
・申告書類の控えが必要な方は、提出前に「提出用のコピー」を御用意ください。
・申告用紙は小樽市ホームページからもダウンロードできます。

申告区分		申告書類	記入上の留意事項
初めて申告される方	資産がある場合	・償却資産申告書 ・種類別明細書（増加資産･全資産用）	令和７年１月１日現在の全資産を申告してください。
	資産がない場合	・償却資産申告書	申告書「20 資産について」の『資産なし』を〇で囲んでください。
前年度以前に申告された方	資産の増減がある場合	・償却資産申告書 ・細目一覧表 ・種類別明細書（増加資産･全資産用） ・種類別明細書（減少資産用）	令和６年１月２日から令和７年１月１日までの増加･減少資産を申告してください。
	資産の増減がない場合	・償却資産申告書 ・細目一覧表	申告書「20 資産について」の『増減なし』を〇で囲んでください。
	廃業・解散等の場合	・償却資産申告書 ・細目一覧表 ・種類別明細書（減少資産用）	申告書「19 異動事項」の該当項目を〇で囲み、異動年月日を記入してください。
自社の電算処理方式により申告される方		・償却資産申告書 ・種類別明細書（増加資産･全資産用） ・種類別明細書（減少資産用）	令和７年１月１日現在の全資産を申告してください。
電子申告（eLTAX）により申告される方			

※減少資産がある場合は、「種類別明細書（減少資産用）」を必ず提出してください。

２　本人確認資料（個人の方のみ）

・マイナンバー（個人番号）を記載した申告書を提出いただく際に、番号法による本人確認を行いますので、次の確認資料※1を御提示ください。郵送の場合は、確認資料の写しを添付してください。
・代理人申告の場合は、本人の番号確認資料のほか、税理士は「税理士証票」及び「税務代理権限証書」が、その他代理人は「代理人の身元確認資料」及び「委任状」が別途必要となります。

確認項目	確認資料※1
番号確認	マイナンバーカード（裏面）※2／通知カード※3／住民票（マイナンバー入り）のいずれか１点
身元確認	マイナンバーカード（表面）※2／運転免許証／パスポート等のいずれか１点

※１　資料の不備により確認ができない場合は、個人番号の記載がないものとして受理します。
※２　本人が提出する場合、マイナンバーカードは番号及び身元確認の両方の確認資料となります。
※３　通知カードは、氏名及び住所が住民票と一致している場合に限り、番号確認資料として使用できます。

■申告書類の記入例

◆提出期限　令和7年1月31日（金）

1　償却資産申告書

・太枠で囲まれた各項目を記入してください。
・前年度以前に申告された方は、住所等の印字内容を確認の上、変更がある場合は抹消線を引き、正しい内容を記入してください。

❶住所・電話番号
主たる事業所の所在地、電話番号

❷氏名
・個人は氏名、屋号（店名）
・法人は法人名称、代表者氏名

❹事業種目
事業内容を具体的に記入

❻この申告に応答する者
問合せ先となる部署、氏名、電話番号

❼税理士等の氏名
経理を委託している税理士等の氏名、電話番号

受付印　令和 7 年 1 月 12 日　小樽市長様

令和　7　年度
償却資産申告書（償却資産課税台帳）

第二十六号様式（提出用）

※所有者コード：01234567-01234567

所有者	1 住所（ふりがな）（又は納税通知書送付先）	047-0024 北海道小樽市花園２丁目１２番１号（電話　３２－４１１１）	3 個人番号又は法人番号	
			4 事業種目（資本金等の額）	菓子製造（百万円）（１００）
	2 氏名（ふりがな）（法人にあってはその名称及び代表者の氏名）	~~株式会社　花園商店~~ 様 株式会社　小樽花園商店 代表取締役　小樽　太郎 （屋号　山田屋菓子舗）	5 事業開始年月	昭和５６年１０月
			6 この申告に応答する者の係及び氏名	経理係　山田　二郎（電話　３２－４１１１）
			7 税理士等の氏名	港　太郎（電話　２２－５３５４）

8 短縮耐用年数の承認	有・(無)
9 増加償却の届出	有・(無)
10 非課税該当資産	有・(無)
11 課税標準の特例	有・(無)
12 特別償却又は圧縮記帳	有・(無)
13 税務会計上の償却方法	(定率法)・定額法
14 青色申告	(有)・無

資産の種類	取得価額 前年前に取得したもの（イ）	前年中に減少したもの（ロ）	前年中に取得したもの（ハ）	計((イ)－(ロ)＋(ハ))＝(ニ)
1 構築物	2,000,000		1,500,000	3,500,000
2 機械及び装置	3,000,000			3,000,000
3 船舶				
4 航空機				
5 車両及び運搬具				
6 工具、器具及び備品	2,020,000	920,000	700,000	1,800,000
7 合計	7,020,000	920,000	2,200,000	8,300,000

資産の種類	評価額（ホ）	※決定価格（ヘ）	※課税標準額（ト）
1 構築物			
2 機械及び装置			
3 船舶			
4 航空機			
5 車両及び運搬具			
6 工具、器具及び備品			
7 合計			

15 市内における事業所等資産の所在地	① 花園２－１２－１ ② 若松１－２－１（若松工場） ③ 小樽駅構内（ｷｬﾝﾃﾞｨﾊｳｽ）
16 借用資産	(有)・無 貸主の名称等 小樽リース㈱ 小樽市花園５－１０－１
17 事業所用家屋の所有区分	自己所有・(借家)
18 備考（添付書類等）	・令和６年５月１日商号変更
19 異動事項	転出・廃業・解散・その他（　年　月　日）
20 資産について	増減なし・資産なし

窓口	電子	郵便返信無	郵便返信有	確認	入力
				／	／

◆所有者コード
・小樽市独自の管理コード（前年度以前に申告された方は申告書に印字済）
・電算処理による申告、電子申告（eLTAX）の場合は必ず転記

❽～⓫
短縮耐用年数の承認等
・該当項目を○で囲む
・❽～⓫が「有」の方は、次の資料（写）を添付
❽国税局長の承認通知書
❾税務署長への届出書
❿該当資産の確認書類
⓫該当資産の確認書類

⓬小樽市内の資産所在地
４か所目以降は、「18 備考」や別用紙（様式任意）に記入

⓭事業所用家屋の所有区分
該当項目を○で囲む

⓮備考
添付書類の名称や住所変更、合併等の連絡事項を記入

⓯異動事項
該当する場合、項目を○で囲み、異動年月日を記入

⓴資産について
・令和６年中の資産の増減がない場合、『増減なし』を○で囲む
・令和７年１月１日現在、小樽市内に資産がない場合、『資産なし』を○で囲む

◆取得価額　合計額を種類別に記入
・**前年前に取得したもの（イ）**
令和６年１月１日現在の合計額
・**前年中に減少したもの（ロ）**
令和６年中の減少資産の価額
・**前年中に取得したもの（ハ）**
令和６年中の取得資産の価額
・**計（ニ）**＝(イ)－(ロ)＋(ハ)
令和７年１月１日現在の合計額

◆評価額（ホ）、決定価格（ヘ）、課税標準額（ト）
電算処理による申告の場合は必ず記載

2　種類別明細書（増加資産・全資産用）

◆提出期限　令和7年1月31日（金）

・太枠で囲まれた各項目を記入してください。
・前年度以前に申告された方は、令和６年１月２日から令和７年１月１日までの増加資産を記入してください。
　令和６年１月１日以前の取得資産（移動、申告漏れ等）がある場合は、その資産も記入してください。
・初めての方は、令和７年１月１日現在の全資産を記入してください。

年度

※所有者コード	所有者名		
01234567	株式会社　小樽花園商店	1	枚のうち
		1	枚目

種類別明細書（増加資産・全資産用）

第二十六号様式別表一（提出用）

行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	取得年月 年	取得年月 月	取得価額 (イ)	耐用年数	減価償却残存率 (ロ)	価額 (ハ)	※課税標準の特例 率	※課税標準の特例 コード	※課税標準額	増加事由	摘要
01	1		内部造作	1	5	6	1	1,500,000	10	0.					①・2・3・4	
02	6		除雪機　OTA1000-RU	1	5	6	10	400,000	10	0.					①・2・3・4	
03	6		ミキサー	1	5	2	5	300,000	6	0.					1・②・3・4	R3年度～申告漏れ
04										0.					1・2・3・4	
05										0.					1・2・3・4	
⋮																
20										0.					1・2・3・4	
			小計	3				2,200,000								

資産の種類
該当する番号を記入
［１ 構築物　２ 機械及び装置　３ 船舶
４ 航空機　５ 車両及び運搬具　６ 工具、器具及び備品］
※別紙「申告の手引き」２ページを参照

資産の名称等
・名称や規格等を具体的に記入
・改良費は、改良を加えられた資産（本体）と区分して記入
　（本体名称も付記）

取得年月
年号は該当する番号を記入（１月１日取得分は、前年 12 月と記入）
［３ 昭和　４ 平成　５ 令和］

取得価額
・資産の取得に要した金額（手数料、運賃、据付費等）を含めた価額
・消費税は、税務会計上の処理に合わせて記入
・改良費は、改良を加えられた資産（本体）と区分して記入

耐用年数
「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」に掲げる耐用年数
※中古資産で見積耐用年数を使用した場合や短縮耐用年数の適用がある場合は、その年数を記入

増加事由
該当する番号を○で囲む
［１ 新品取得　２ 中古取得
３ 移動による受入れ　４ その他］

摘要欄
次の事項に該当する場合、各資産ごとに記入
・申告漏れの資産は、本来申告すべき年度
・増加事由「３移動による受入れ」は移動年月、前所在地
・増加事由「４その他」はその理由
・課税標準の特例の適用資産は、適用条項
・その他、価格決定に必要な事項（短縮耐用年数の適用、増加償却の適用、取得価額の変更、耐用年数の変更等）

3　種類別明細書（減少資産用）の記入例

◆提出期限　令和7年1月31日（金）

・太枠で囲まれた各項目を記入してください。
・令和６年１月２日から令和７年１月１日までの減少資産を記入してください。
・令和６年１月１日以前の減少資産（移動、申告漏れ等）がある場合は、その資産も記入してください。

年度

※所有者コード：01234567

種類別明細書（減少資産用）

所有者名：株式会社　小樽花園商店　　1 枚のうち 1 枚目

第二十六号様式別表二（提出用）

行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月 年号	年	月	取得価額	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分 1売却 2滅失 3移動 4その他	1全部 2一部	摘要
01	6	00000003	暖房機	1	4	25	10	400,000		31	1・2・(3)・4	(1)・2	R6札幌支店へ移動（H30余市支店から移動分）
02	6	00000006	自動販売機	2	5	2	7	200,000		3	1・(2)・3・4	1・(2)	破損、5台50万円のうち2台20万円減少
03	6	00000007	除雪機　OTA500-RU	1	4	25	10	320,000		26	(1)・2・3・4	(1)・2	小樽市緑1-9-4 ㈲緑商店へ
04											1・2・3・4	1・2	
05											1・2・3・4	1・2	
⋮													
18											1・2・3・4	1・2	
19											1・2・3・4	1・2	
20											1・2・3・4	1・2	
			小計	4				920,000					

資産の種類
「償却資産細目一覧表」から転記

抹消コード
「償却資産細目一覧表」の「資産番号」を転記

資産の名称等、取得年月
「償却資産細目一覧表」から転記

数量、取得価額
「償却資産細目一覧表」から転記
※一部減少の場合は、「減少した部分に対応する数量、取得価額」を記入

申告年度
資産を最初に申告した年度

減少事由
該当する番号を○で囲む
［１　売却　２　滅失　３　移動　４　その他］
※廃棄の場合は「２滅失」を選択

減少区分
該当する番号を○で囲む
［１　全部　２　一部］

摘要欄
次の事項に該当する場合、各資産ごとに記入
・申告漏れの資産は、本来申告すべき年度
・減少事由「１売却」は売却先
・減少事由「３移動」は移動先
・減少事由「４その他」はその理由
・一部減少の場合は、「当初の数量、取得価額」と「減少した部分に対応する数量、取得価額」
・その他、価格決定に必要な事項（取得価額の変更、耐用年数の変更等）